

平成29年度 全国学力・学習状況調査 本校の結果と指導の改善策

4月18日に全国の6年生を対象に実施された全国学力・学習状況調査の本校の結果が届き、結果の分析を行いました。分析したことを指導の改善に生かしていきます。その概要をお知らせします。

これからも子ども一人ひとりが、安心して、豊かに生活できる学校づくりをすすめてまいります。皆様のご理解・ご支援をよろしくお願いいたします。

1 全国と本校の正答率の比較

＜全国を上回った観点・領域＞

国語A（知識）	話す・聞く能力	本校（70.4）	全国（69.2）
国語A（知識）	読む能力	本校（72.2）	全国（70.2）
国語B（活用）	書く能力	本校（55.2）	全国（53.4）
国語B（活用）	読む能力	本校（52.5）	全国（49.2）
算数A（知識）	数と計算	本校（83.3）	全国（80.6）
算数A（知識）	量と測定	本校（75.0）	全国（68.8）
算数A（知識）	図形	本校（88.0）	全国（81.1）
算数A（知識）	数量関係	本校（86.3）	全国（79.6）
算数B（活用）	数と計算	本校（55.6）	全国（52.8）
算数B（活用）	量と測定	本校（60.2）	全国（47.0）
算数B（活用）	図形	本校（14.8）	全国（13.2）
算数B（活用）	数量関係	本校（46.8）	全国（40.0）

＜全国を下回った観点・領域＞

国語A（知識）	書く能力	本校（57.4）	全国（60.6）
国語A（知識）	言語	本校（76.1）	全国（78.0）
国語B（活用）	話す・聞く能力	本校（63.0）	全国（64.9）

2 全国正答率との比較において顕著だった問題及びその結果を踏まえた指導の改善策

＜国語科＞

○国語A（知識）	全国より上回った問題 ・目的に応じて、文章の中から必要な情報を見つけて読む	全国より下回った問題 ・学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく書く ・手紙の構成を理解し、後付けを書く
○国語B（活用）	全国より上回った問題 ・目的や意図に応じ、必要な内容を整理して書く ・登場人物の相互関係や心情、場面についての描写を捉える	全国より下回った問題 ・該当なし

国語科指導の改善策

国語「知識に関する問題」Aの結果から

- 体験学習や社会科見学に行った際などに、児童自らが「お礼の手紙を書きたい」という場面を設定し、子供に必要感をもたせようとして指導を行う。
- 漢字の学習をする際に、単純に書き取りを行うだけでなく、該当漢字を使った言葉を集めたり、該当漢字を使った短文を作ったりするなど実際にその漢字がどのように使われているか、使えばよいのかを考えながら行うようにする。

国語「活用に関する問題」Bの結果から

- タブレット端末を使ったスピーチ練習の場面を設定し、自分のスピーチを振り返り改善する経験やスピーチメモをもとにして、原稿を読むのではなく、聞き手の方を見る、間をあげるなどの工夫をしながらスピーチできるようにしていく。
- 総合的な学習の発表の場など、子どもたち一人ひとりが発表する機会を設ける。

<算数科>

○算数A（知識）

全国より上回った問題
 ・商を分数で表すことができる
 ・二次元表の合計欄に入る数を求めることができる

全国より下回った問題
 ・整数の乗法の計算をすることができる

○算数B（活用）

全国より上回った問題
 ・仮の平均の考えを活用して、測定値の平均を求める
 ・飛び離れた数値を除いた場合の平均を求める式を選ぶ

全国より下回った問題
 ・該当なし

算数科指導の改善策

算数「知識に関する問題」Aの結果から

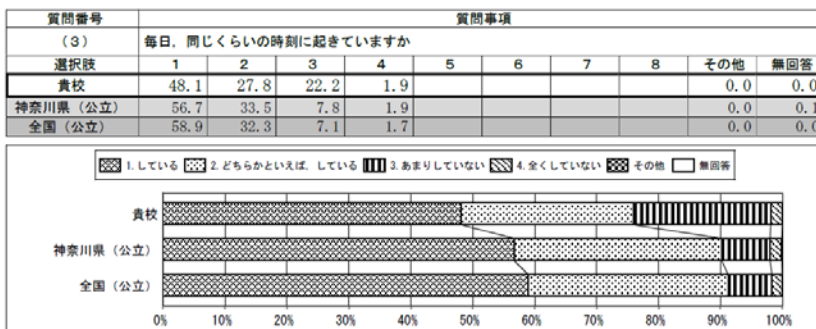
■基礎的・基本的な計算の技能の確実な定着を図るために、スキルタイムなどの時間を活用し、当該学年以前の学習内容にも繰り返し取り組む機会をもつようにする。

算数「活用に関する問題」Bの結果から

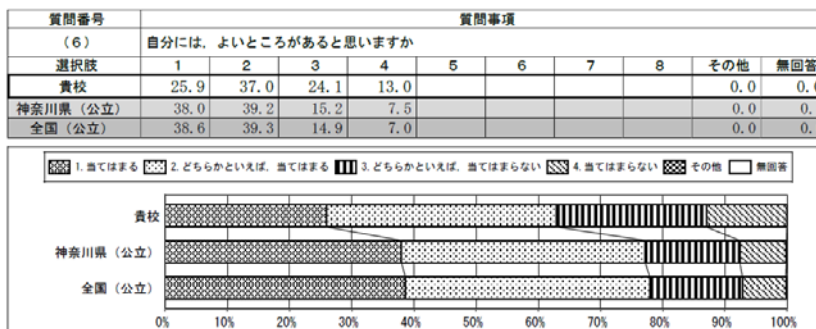
■算数で学習したことを日常生活の事象と関連させ活用できる機会を積極的に設定していく。

3 生活習慣や学習習慣に関する調査（質問紙調査）結果

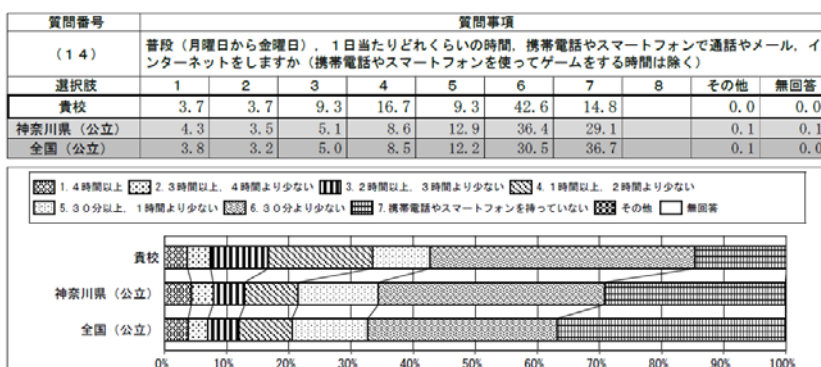
いくつかの質問の中から、全国・神奈川県と比較して良い傾向にあるものや課題があると思われるものを取り上げています。



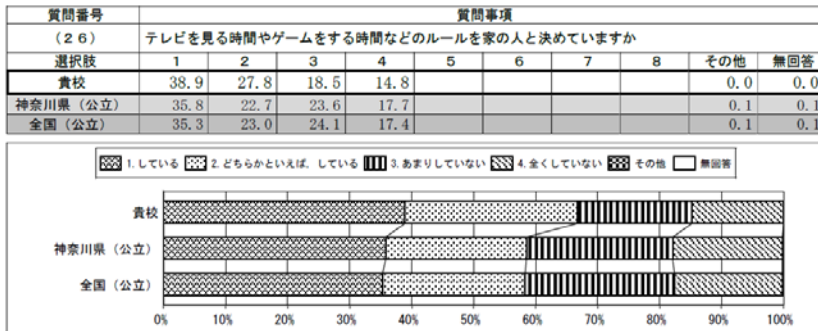
毎日同じ時刻に起きるという生活習慣がつけられるよう、ご家庭のご協力をよろしくお願ひいたします。



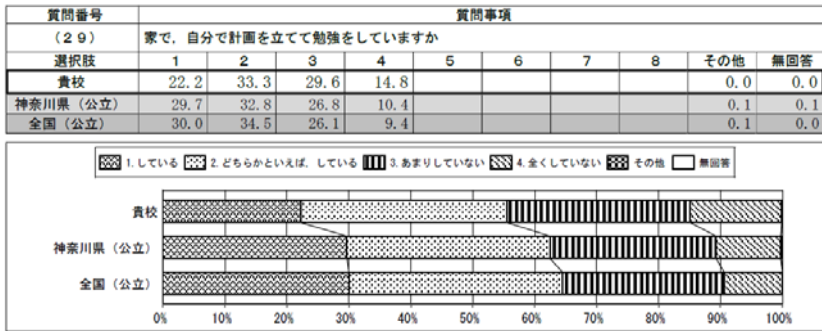
学力調査の結果が示す通り、非常によく頑張っている児童達です。学校・家庭ともに子どもたちの頑張りを認め、褒めていきたいと思ひます。



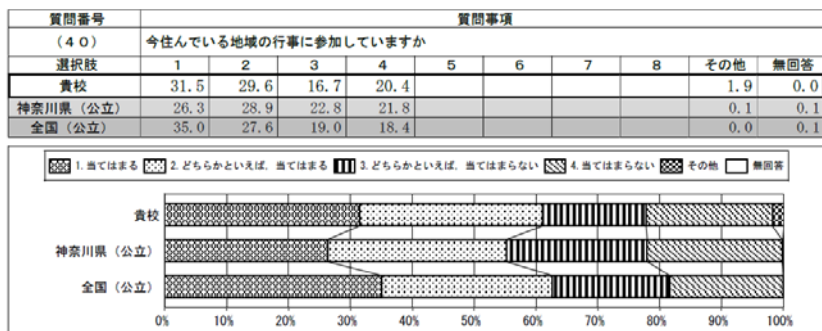
携帯電話・スマートフォンの単純所持率が高く、また使用時間の長さにも心配があります。今一度、使用時間についての約束を見直し、使用時間を減らせるようご協力お願ひいたします。



テレビを見る、ゲームをする時間などについてきちんと約束を決められているご家庭が多い傾向にあります。これからお子さんとコミュニケーションをとりながら約束等を決めていただきたいです。



今年度より始まりました、自主学習の取組を通して自分の課題を見つめ、計画的に学習に取り組める児童を、学校と家庭が連携して育成していきたいと思いをします。



地域行事への参加率が高い傾向にあります。自分の住んでいる地域に愛着を持ち、地域の大人に愛される子どもたちが育っています。学校・家庭・地域のますますの連携が期待されます。

4 一本松小学校全体としての改善策

新学習指導要領に示された通り、「主体的・対話的で深い学びの実現」という視点から授業改善を図る。

指導の改善策

- 朝のスキルタイムを活用し、一層の基礎的・基本的な知識・技能の定着を図る。
- 子どもたちが見出した問題から課題を設定し、見通しとふり返りを大切に単元計画を行う。
- 学習した内容と日常の事象とを結び付けて考える機会を積極的に設定していく。
- 協同的に学び合い、友達の意見から学び合える児童を育成する。
- 学校図書館や昼読タイムを活用した読書指導の充実をはかる(学校司書との連携、家庭での読書)。
- 子どもたちが行事ごとに自分たちの活動を振り返り、自分たちのがんばったことを認め合い、自己肯定感を高めることができるよう支援していく。